TOSHIBA
Leading Innovation

REGZA
レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクプレーヤー取扱説明書

形名 DBP-S300

はじめに
準備する
再生する
ネットワークを使う
さまざまな設定や情報

お客様登録サービス「Room1048(ルームトウシバ)」に登録をお願いします！

Room1048 は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。
※ お客様登録は、Web 限定のサービスです。
>>> ご登録はこちらから！ <<<
http://toshibadirect.jp/room1048/

※キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

- 電源を「入」にしたとき
  電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- **本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…**
  「症状に合わせて解決法を調べる」46、「総合さくいん・用語解説」57 をご覧ください。
- 必ず最初に「安全上のご注意」4 をご覧ください。
- このたびは東芝ブルーレイディスクプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  お求めのブルーレイディスクプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
  お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

もくじ

はじめに 2

準備する 10

再生する 16

ネットワークを使う 24

さまざまな設定や情報 34

お使いになる前に

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのプレーヤー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「総合さくいん・用語解説」57 をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
- インターネットによるオンライン登録にご協力ください。
  (インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス http://toshibadirect.jp/room1048/)

本書で使用するマークの意味

● ヒントアイコン
操作するときに役立つ内容などのお知らせです。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

関連する内容が記載されているページの番号を記載しています。

付属品を確認する

リモコン／１個	単四形乾電池／２個	本書（取扱説明書）／１冊

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	「取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取扱いを誤った場合、人が軽症（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽症とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁止	「⃠」は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	「●」は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	「⚠」は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

次のときは、ただちに電源プラグを抜く
- **煙が出ていたり､変なにおいがしたりするとき**
- **内部に水や異物がはいったとき**
- **落としたり､キャビネットを破損したとき**
- **電源コードが傷んだり､電源プラグが発熱したりしたとき**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。

設置するとき

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

上にものを置かない

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

使用するとき

電源コードは
- **傷つけたり､延長するなど加工したり､加熱したりしない**
- **引っ張ったり､重いものを載せたり､はさんだりしない**
- **無理に曲げたり､ねじったり､束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ディスクトレイなどから異物を入れない

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない

感電の原因となります。

可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁 止

電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

トレイ開閉口の前にものを置かない

トレイが開いた時に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。

安全上のご注意・つづき

⚠警告

お手入れ

ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

指 示

⚠注意

設置するとき

風通しの悪い場所に置かない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁 止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

高い場所に設置しない

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

禁 止

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります

禁 止

本機に接続するケーブルは正しく接続する

正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

指 示

⚠注意

使用するとき

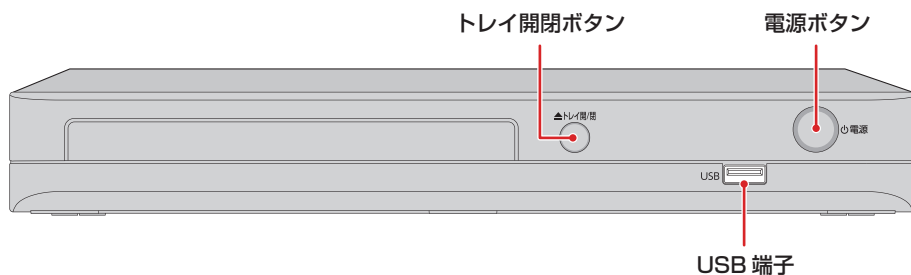
移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない** 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。	**旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く** 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
電源を入れる前には音量を最小にする 電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。	**テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない** 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。
ディスクトレイに、手を入れない 指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいるときにはご注意ください。	**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない** ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

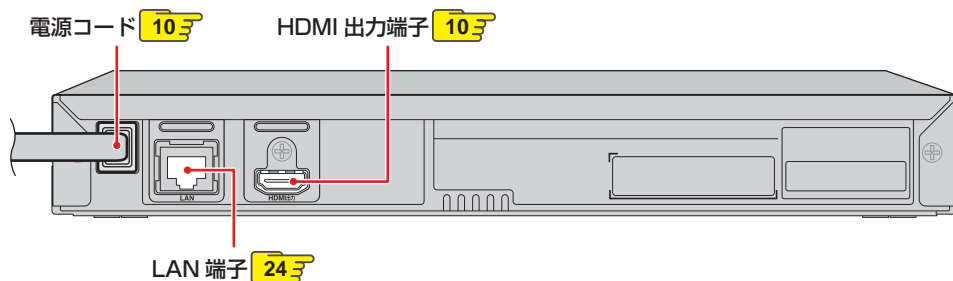
リモコンに使用している乾電池は、
- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性[(+)と(−)]を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり､火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり､使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池､新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは､「使用上のお願い」 52 も同様に､必ずお読みください。

各部のなまえとはたらき

本体前面

- USB端子にはUSB機器や無線LANアダプター以外の機器（パソコンや外付けハードディスクなど）を接続しないでください。
- USB機器を接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。

本体背面

- 端子部に手をふれないでください。
- 本機にアンテナ端子はありません。

リモコン

リモコン発光送信部

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

スタートメニューを表示する

ディスクトレイを開く／閉じる

ブルーレイディスク: トップメニューを表示する
DVD: タイトルメニューを表示する

方向ボタン: 選ぶ
決定ボタン: 決定する

1つ前の画面に戻る

再生する

チャプター番号入力する
数字を入力する

見たい場面までとばす

再生中のメディアに関する情報を表示します

本機の電源を入れる／切る

ブルーレイディスク: ポップアップメニューを表示する
DVD: ディスクメニューを表示する

サブメニューを表示する

BD-Live™(コンテンツ内)のアイテムを選択するページを切り換える(リスト表示中)

音声を切り換える

字幕を切り換える

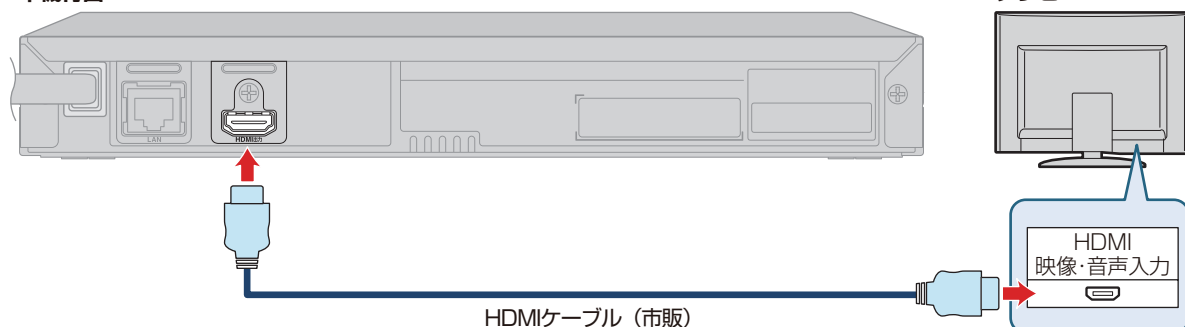
カメラアングルを切り換える

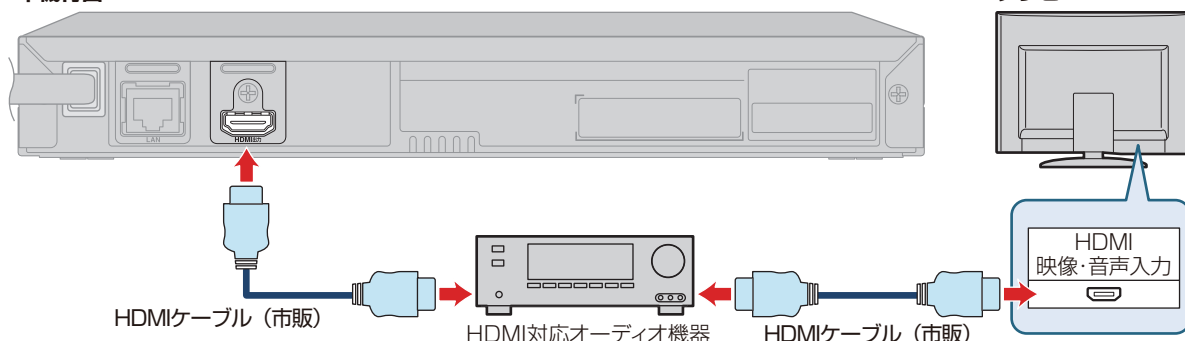
リピート再生を切り換える

● 乾電池の入れかたは 11 をご覧ください。

本機をテレビや AV アンプとつなぐ

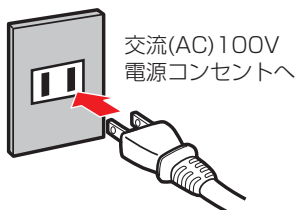
テレビとつなぐ

- HDCPに対応していないテレビに接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。

AVアンプとつなぐ

- 7.1ch等のマルチスピーカ対応のアンプと接続すると、映画館のような臨場感溢れる音声を聞くことができます。
  また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD®の各音声を出力できるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。（この接続をした場合、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機とHDMI対応アンプなどを接続したときは、準備完了後、接続した機器に合わせて「本体設定」➡「HDMI設定」➡「音声出力設定」の設定を変更してください。

- ケーブルは傾けずに、まっすぐと差し込んでください。
- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、プラグの大きさや形状によって接続できないことがあります。

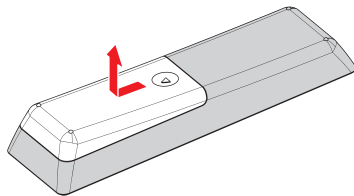
電源コードをつなぐ

交流(AC)100V
電源コンセントへ

- 電源プラグを交流（AC）100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

- 本体の動作中は、電源コードを抜き差ししないでください。ディスクが使用できなくなるおそれがあります。

リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

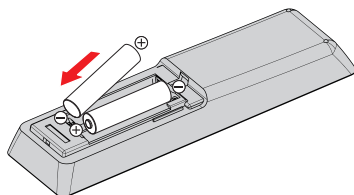
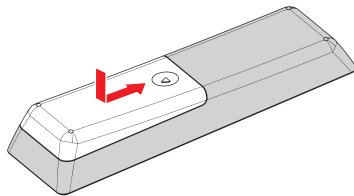
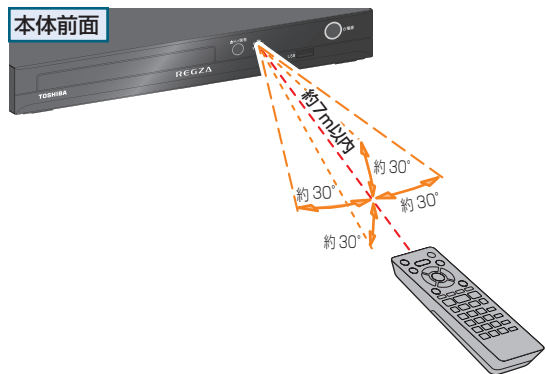
1 リモコンの裏面のフタをはずす

2 (－)側を先に入れたあと、(＋)側を入れる

電池は以下の単4の乾電池(1.5V)を2個お使いください。

- マンガン乾電池
- アルカリ乾電池

3 裏面のフタを取り付ける

ご注意

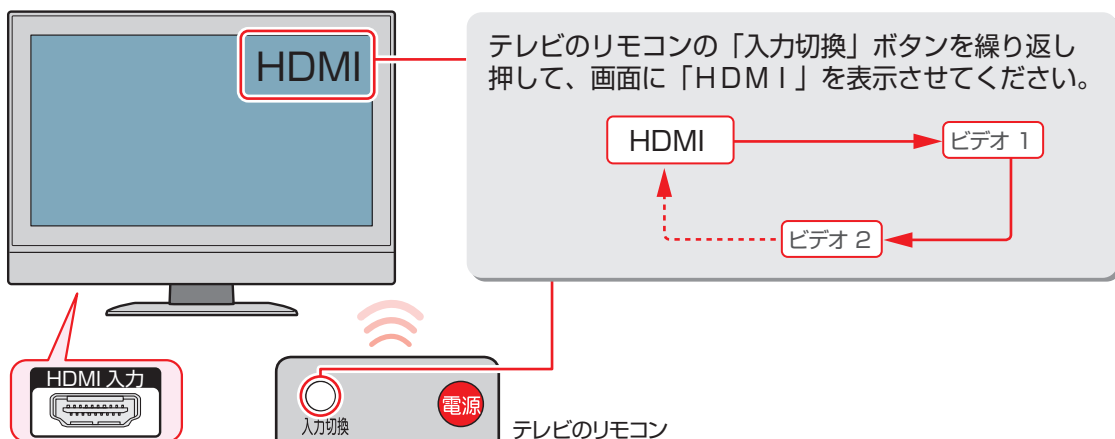
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
  - リモコンの使用距離が短くなってきたとき
  - 一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池(ZR6)、エボルタ乾電池(LR6)などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例にしたがって処理してください。

リモコンの使用範囲について

距離 ･･･ 本機正面より　7m 以内
角度 ･･･ 本機正面より　左右　約 30° 以内（5m 以内）
下　約 30° 以内（5m 以内）
上　約 30° 以内（5m 以内）

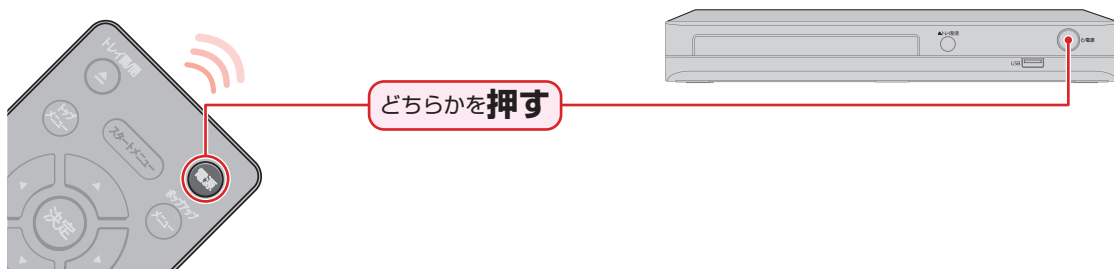
- リモコンの受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンを使うときは以下にご注意ください。
  - 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
  - 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

本機の映像をテレビで見る

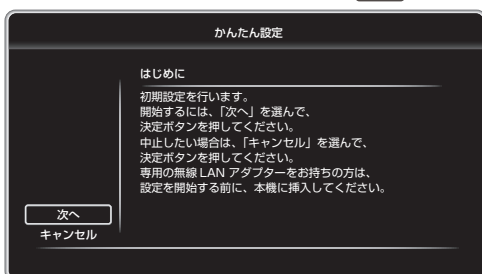
1 テレビの電源を入れる

2 テレビの入力切換で、テレビの入力を「HDMI」に切り換える

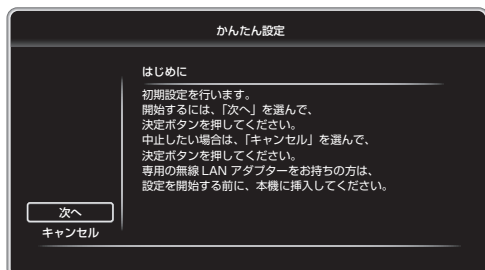
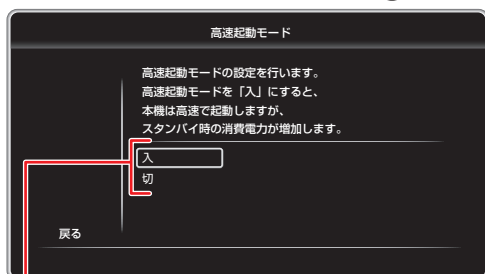
- テレビのリモコンで切り換えます。

3 本機の電源を入れる

- 電源を切るときも同じ操作です。

- 以下の画面が表示されます。(画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。)

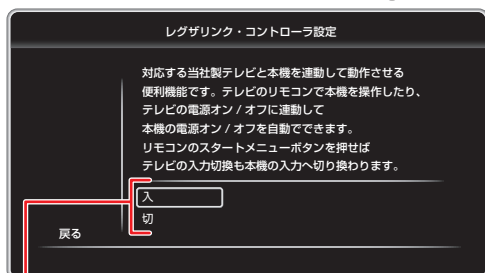
以下の画面が表示されたときは

「かんたん設定」を行ってください。13

かんたん設定をする

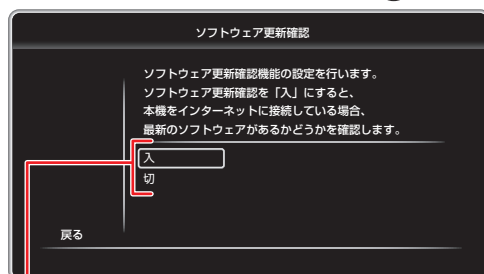
接続が終わって初めて電源を入れたときは、テレビ画面に「かんたん設定」画面が表示されます。画面の案内やガイドにしたがって設定してください。

1 以下の画面が表示されたら、▲·▼で「次へ」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「入」または「切」を選び、決定を押す

入： 高速で起動しますが、「切」時に比べて待機時の消費電力が増えます。

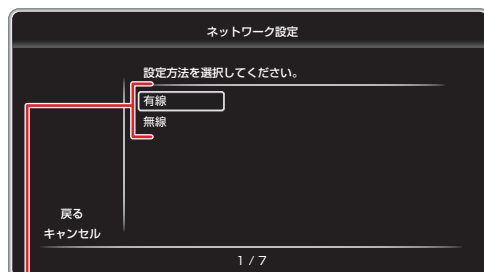
切： 起動するのに時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

3 ▲·▼で「入」または「切」を選び、決定を押す

入： テレビと本機の動作が連動する機能を利用します。

切： リンク機能は利用しません。

4 ▲·▼で「入」または「切」を選び、決定を押す

入： 本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。

切： ソフトウェアを確認しません。

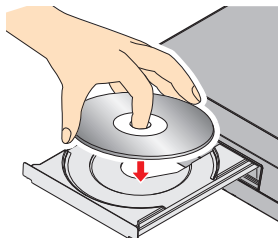
5 ▲·▼で「有線」または「無線」を選び、決定を押す

有線： LAN ケーブルを使ってネットワークを接続します。接続や設定については、27 をご覧ください。

無線： 無線 LAN アダプター（別売）を使ってネットワークを接続します。接続や設定については、30 をご覧ください。

メディアを用意する

ディスクを入れる

1 トレイ開/閉 **を押し、ディスクトレイを開く**

2 **ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く**

3 トレイ開/閉 **を押して、ディスクトレイを閉める**

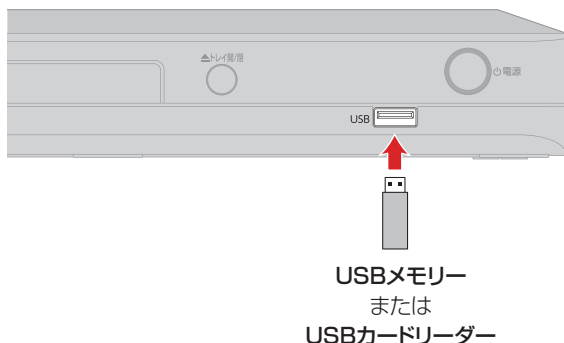
- ディスクの読み込みが始まります。（読み込みに時間がかかることがあります。）

ディスクを取り出すには

トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出してください。ディスクを取り出したあとは、トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉じてください。

USB機器を接続する

- 本機ではUSBメモリー（別売）やUSBカードリーダー（別売）を接続して使うことができます。
- USBカードリーダー（別売）を接続すると、SDカード（別売）を使うことができます。

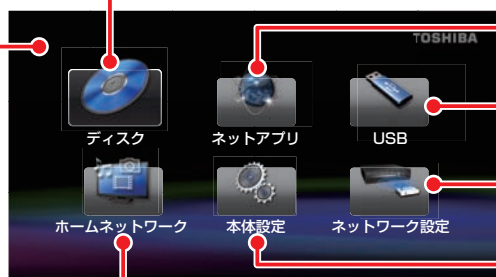
USBメモリー
または
USBカードリーダー

USB機器を取りはずすには

本機の電源を切ってから、ゆっくりと引き抜いてください。

- USB機器を認識中・読み込み中は、以下の操作をしないでください。
  - 本機の電源を切る
  - USB機器を取りはずす
- USBメモリーを接続するときは、延長ケーブルを使わないでください。
- USBカードリーダーによっては、SDカードを認識できないことがあります。その場合、別のUSBカードリーダーをお使いください。

- 対応するSDカードについては、41 をご覧ください。

画面表示の見かた

スタートメニュー

無線LANアダプター（別売）を使って、ネットワークに接続しているときは

ネットワークの接続状態が表示されます。

：　ネットワークが接続されています。接続状態によって、白い線が増減します。

：　ネットワークが接続されていません。

タイトル（トラック・ファイル）リスト

映像を再生するとき※

音楽を再生するとき

写真を再生するとき

① ディスクやUSB機器、またはフォルダの名前

② 現トラック番号/総トラック数

③ タイトル・トラック・ファイル名

④ ファイルリスト一覧

⑤ 映像の詳細情報

⑥ メディアの種類

⑦ 動作状態

⑧ 再生経過時間

⑨ 現チャプター番号/総チャプター数

※　BD-RE/-R（BDAV 方式）や DVD（VR 方式と AVCREC™ 方式）の場合に表示します。

● 本機で再生できるフォーマットについては、40 をご覧ください。

再生する

ディスクの映像を再生する

BD-VideoやDVD-Video、AVCHDファイルを再生するとき

1 ディスクを入れる
- 自動的に再生が始まります。
  再生が始まらないときは、[▶]を押してください。

メニュー画面が表示されたときは

ディスクメニューが設定されているディスクを再生すると、自動的にメニューが表示されます。ディスクのメニューを使って、色々な操作ができます。
- ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの取扱説明書をお読みください。
- メニュー画面を再表示するときは、[トップメニュー]や[ポップアップメニュー]を押してください。
- ディスクによっては[トップメニュー]や[ポップアップメニュー]を押しても、メニューが表示されないことがあります。

種類の異なるファイルが入っているディスクを再生するとき

1 ディスクを入れる

2 ◀·▶で「ビデオカメラ映像」または「TV番組の映像」を選び、[決定]を押す

- タイトル（トラック・ファイル）リスト画面が表示されたときは▲·▼で再生したいタイトル（トラック·ファイル）を選び、[▶]を押してください。

ブルーレイディスク（BDAV方式）やDVD（VR方式やAVCREC™方式）を再生するとき

プレイリストを設定しているときは、「オリジナル」または「プレイリスト」を選んで再生することができます。

1 ディスクを入れる
- タイトルリストが表示されます。

2 で「オリジナル」または「プレイリスト」を切り換える

3 ▲·▼でお好みのタイトルを選び、[決定]または[▶]を押す。

お知らせ
- BDAV方式やAVCREC™方式、VR方式とは、各方式に対応しているディスクを使ってプログラム編集などを行う、ブルーレイディスク™/DVDレコーダーならではの機能を楽しむ記録フォーマットです。
- ブルーレイディスク™/DVDレコーダーで録画したディスクの場合、録画して作られたタイトル（番組）を「オリジナル」と呼びます。
- 「オリジナル」を元に編集して作成したタイトルを「プレイリスト」と呼びます。「プレイリスト」が作成されていないディスクでは、「オリジナル」のみを表示します。
- ファイナライズされていないBD-Rは再生できないことがあります。ファイナライズされていないDVD-RW/-Rは再生できません。
- ディスク名、タイトル名では、認識されない記号などの文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、記録方式によっては、認識できる文字であっても＊（アスタリスク）で表示される場合があります。

SDカードから映像を再生する

SD カードから再生するときは、USB カードリーダーを使って再生してください。

1 USBカードリーダーを接続する

2 スタートメニューを押す

3 ▲･▼･◀･▶で「USB」を選び、決定を押す
- 再生が始まります。
- 再生が始まらないときは、►を押してください。
- 種類の異なるファイルが入っているSDカードの場合、ファイルタイプ選択画面が表示されます。「ビデオカメラ映像」を選び、決定を押してください。

● USBメモリーから直接映像を再生することはできません。

ディスクの音楽を再生する

1 ディスクを入れる

2 ▲･▼で聞きたい曲を選び、決定を押す
- 再生が始まります。

再生開始位置について

■を押して再生を停止すると、再生停止位置（リジュームポイント）が記憶されます。
►を押して再生すると、リジュームポイントの続きから再生することができます。

● リジュームポイントを記憶したあとに、もう一度■を押すと、リジュームポイントは解除されます。

ディスクの場合

● 本機の電源を切っても、リジュームポイントを記憶することができます。
● 決定を押して再生すると、ディスクの始めから再生することができます。
● ブルーレイディスクによっては、リジュームポイントが記憶されないことがあります。
● 本機からディスクを取り出すと、リジュームポイントは解除されます。

USB機器の場合

● 以下の場合、リジュームポイントは解除されます。
  - 本機の電源を切る
  - USB機器を取りはずす

写真や絵を再生する（スライドショー）

パソコンやデジタルカメラなどで JPEG 形式の写真や絵を記録したディスクや USB 機器を本機で再生することができます。

ディスクの写真や絵を再生する

JPEGファイルのみのディスクを再生するとき

1 ディスクを入れる

2 ▲·▼·◀·▶ で写真/絵を選び、▶ または 決定 を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

KODAK Picture CDを再生するとき

KODAK Picture CD は、従来のフィルムカメラで撮影された写真をデジタルデータに変換・保存し、CD に書き込むサービスです。 KODAK Picture CD を再生することにより、デジタル画像をテレビで楽しむことができます。 お近くのサービスプロバイダーについては、www.kodak.com/.をご覧ください。

1 ディスクを入れる

2 ▲·▼·◀·▶ で写真/絵を選び、▶ または 決定 を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

種類の異なるファイルが入っているディスクを再生するとき

1 ディスクを入れる

2 ◀·▶で「写真」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼·◀·▶ で写真/絵を選び、▶ または 決定 を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

再生を停止するときは

■ を押してください。

- トップメニュー を押すと、始めの写真/絵に戻ります。
- ポップアップメニュー を押すと、最後に再生した写真/絵に戻ります。

- ◀·▶ で写真を90°ずつ回転することができます。
- 再生中に トップメニュー を押すと、一覧を表示することができます。
- 1つあたりのファイルの再生時間（表示間隔）は10秒です。
- 写真/絵の容量が大きいと、表示するまでに時間がかかることがあります。
- 記録状態によっては、再生できないファイルがあります。
- プログレッシブJEPG形式のファイルは、再生できません。

再生する

USB機器の写真や絵を再生する

- USBカードリーダーを使うと、SDカードから写真や絵を再生することができます。
- AVCHDはUSBカードリーダーを使って、SDカードから再生することができます。

JPEGファイルのみのUSB機器を再生するとき

1 USB機器を接続する

2 スタートメニューを押す

3 ▲·▼·◀·▶で「USB」を選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶で写真/絵を選び、►または決定を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

種類の異なるファイルが入っているUSB機器を再生するとき

1 USB機器を接続する

2 スタートメニューを押す

3 ▲·▼·◀·▶で「USB」を選び、決定を押す

4 ◀·▶で「写真」を選び、決定を押す

5 ▲·▼·◀·▶で写真/絵を選び、►または決定を押す

- 選んだ写真/絵から再生が始まります。

再生するときに便利な機能

速度を変えて再生する

早送り/早戻し
早く見る/聞く

再生中に◀◀、▶▶を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で変わります。(音楽用CDとホームネットワークで配信されている映像や音楽は、3段階で変わります。)
- ▶を押すと、通常再生に戻ります。

- ホームネットワークで配信されている映像や音楽の場合、早送り/早戻しできないことがあります。
- 音楽用CDの場合、曲をまたいで早送り/早戻しすることはできません。
- スライドショーは早送り/早戻しできません。

再生一時停止
再生を一時的に止める

再生中に⏸を押す

- ▶または⏸を押すと、通常再生に戻ります。

スロー再生
ゆっくり見る

再生一時停止中に▶▶を押す

- 押すたびに、再生速度が3段階で変わります。
- ▶を押すと、通常再生に戻ります。

- 「スチルモード」を「フィールド」に設定しているときは、スロー再生中の映像がぼやけて見えます。42
- ホームネットワークで配信されている映像などの場合、スロー再生できないことがあります。
- 音楽用CDの再生やスライドショーは、スロー再生できません。
- 逆スロー再生はできません。

コマ送り
コマを進める

再生一時停止中に⏭を押す

- 押すたびに、コマが進みます。
- ▶または⏸を押すと、通常再生に戻ります。

- 「スチルモード」を「フィールド」に設定しているときは、スロー再生中の映像がぼやけて見えます。42
- コマ戻しはできません。

スキップ
見たい/聞きたいところまでとばす

再生中に⏮、⏭を押す

- ⏭を押すと、次のタイトルやチャプターなどにとびます。
- ⏮を1回だけ押すと、再生しているタイトルやチャプターの頭にとびます。(繰り返して押すと、前のタイトルやチャプターにとびます。)

サブメニューを使ってとばす

サブメニューからスキップすることができます。

1. 再生中に(サブメニュー)を押してサブメニューを表示する
2. ▲·▼で「サーチ」を選び、(決定)を押す
3. ▲·▼で希望のスキップを選び、(決定)を押す
   - 映像(ブルーレイディスクなど)は、TT や CHP を選んでください。
   - 音楽CDを再生しているときは、TR を選んでください。
   - スライドショー中は、手順4へ進んでください。
4. ▲·▼で番号を選び、(決定)を押す

数字ボタンを使ってチャプターをスキップするときは

リモコンの数字ボタンを使って、チャプターをスキップすることができます。(タイトル再生中のみ)

- ホームネットワークで配信されている映像などは、スキップすることができません。
- BD-Videoによっては、スキップできないことがあります。

サーチ
時間を指定してとばす

1 再生中に、[サブメニュー]を押してサブメニューを表示する

2 ▲･▼で「サーチ」を選び、[決定]を押す

- ホームネットワークで配信されている映像などを再生しているときは、手順4へ進んでください。

3 ▲･▼で[時計]を選び、[決定]を押す

4 ▲･▼または[1]～[0]で数値を変更し、[決定]を押す

- ホームネットワークで配信されている映像などの場合、サーチできないことがあります。
- スライドショーは、サーチすることはできません。

リピート再生
繰り返して見る

1 再生中に、[リピート]を押す

2 ▲･▼で希望のリピート再生を選ぶ

- [リピート]を押して選ぶこともできます。
- メディアによって、リピート再生が異なります。

※1 BD-VideoやDVD-Video、AVCHD方式の映像
※2 BD-RE/-R（BDAV方式）やDVD（AVCREC™方式、VR方式）の映像

- サブメニューからリピート再生することもできます。

- 再生を停止すると、リピート再生は解除されます。
- ホームネットワークで配信されている映像などの場合、リピート再生できないことがあります。

再生するときに便利な機能・つづき

音声、字幕、カメラアングルを切り換える

音声を切り換える

再生中のディスクに複数の音声や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

- 二カ国語(二重音声)で記録されたBD-RE/-R (BDAV方式)やDVD (AVCREC™方式)やDVD (VR方式)は、「主音声」や「副音声」、「主/副音声」に切り換えることができます。
- サブメニューから音声を切り換えることもできます。

1 再生中に、[音声切換]を押して、音声情報を表示する

2 希望の音声を選ぶ

- [音声切換]を押して選ぶこともできます。

BD-Videoの場合

音声　プライマリ　1 日本語 Dolby D Multi-ch /3
　　　セカンダリ　1 日本語 DTS Multi-ch /3
　　　[デコードフォーマット]：Dolby D

❶ ▲・▼で項目を選び、(決定)を押す

プライマリ	プライマリ音声を設定します。
セカンダリ	セカンダリ音声を設定します。

❷ ▲・▼で希望の音声を選ぶ

- 「セカンダリ」の場合、◀・▶で「切」に設定することができます。

DVD-VideoやAVCHDファイルの場合

音声　1 日本語 Dolby D Multi-ch /3
　　　[デコードフォーマット]：Dolby D

❶ ▲・▼で希望の音声を選ぶ

音楽用CDの場合

❶ ▲・▼で希望の音声を選ぶ

ステレオ	L-ch と R-ch 両方の音声を有効にします。
L-ch	L-ch の音声を有効にします。
R-ch	R-ch の音声を有効にします。

- 「BD-HD音声設定」を「HD音声」に設定しているときは、セカンダリ音声は出力されません。43
- 複数の音声が記録されていないときは、音声を切り換えることはできません。
- ディスクによっては、「ディスクメニュー」から音声を切り換えることができます。(詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
- ディスクによっては、[音声切換]が機能しないときがあります。(「ディスクメニュー」で音声を切り換えるDVDなど)
- DTS-CDは、音声を切り換えることができません。

字幕を切り換える

再生中の映像に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕の表示 / 非表示を切り換えることができます。

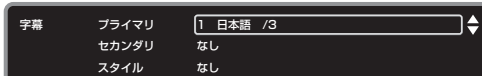
- サブメニューから字幕を切り換えることもできます。

1 再生中に、[字幕切換]を押して、字幕情報を表示する

2 希望の字幕を選ぶ

- [字幕切換]を押して選ぶこともできます。

BD-Videoの場合

字幕　プライマリ　1 日本語 /3
　　　セカンダリ　なし
　　　スタイル　なし

❶ ▲・▼で項目を選び、(決定)を押す

プライマリ	プライマリ映像用の字幕を設定します。
セカンダリ	セカンダリ映像用の字幕を設定します。
スタイル	字幕のスタイルを設定します。

❷ ▲・▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀・▶で選んだ設定を「入」または「切」に設定することができます。

DVD-VideoやAVCHDファイルの場合

❶ ▲・▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀・▶で選んだ設定を「入」または「切」に設定することができます。

- ディスクによっては、「トップメニュー」や「ポップアップメニュー」から字幕を切り換えることができます。
- ディスクに字幕が記録されていないときは、字幕を切り換えることはできません。
- 「セカンダリ」の字幕を表示中に、「プライマリ」の字幕を利用することはできません。

カメラアングル(見る角度)を切り換える

ディスクに複数のカメラアングルが記録または収録されているときは、見る角度を選ぶことができます。

- が表示されているときにカメラアングルを切り換えることができます。

1 再生中に、[アングル]を押す

2 ▲·▼で希望のカメラアングルを選ぶ

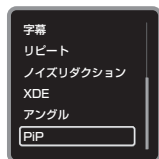
- [アングル]を押して選ぶこともできます。

- サブメニューからカメラアングルを切り換えることもできます。
- 「アングル表示」を「切」にしているときは、は表示されません。23

BD-Videoの子画面を切り換える

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応ディスクのみ)
子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

1 BD-Video再生中に、[サブメニュー]を押してサブメニューを表示する

2 ▲·▼で「PiP」を選び、[決定]を押す

3 ▲·▼で希望の設定を選び、[決定]を押す

- 子画面が表示されます。

子画面を非表示にするには

手順 **3** で「切」を選んでください。

- 子画面の音声は、サブメニューの「音声」で変更することができます。22
- 子画面は、場面によって表示されないことがあります。

ノイズリダクション 再生映像のノイズを低減する

1 再生中に、[サブメニュー]を押して、サブメニューを表示する

2 ▲·▼で「ノイズリダクション」を選び、[決定]を押す

3 ▲·▼で希望の設定を選び、[決定]を押す

ノイズリダクション　入

お知らせ

- YouTube™やHuluの再生中も設定することができます。
- 本機の電源を「切」にしても、「ノイズリダクション」の設定は記憶されています。

XDE 再生映像の画質を鮮明な画質に補正する

映像の画質を精細感の高い画質に補正します。

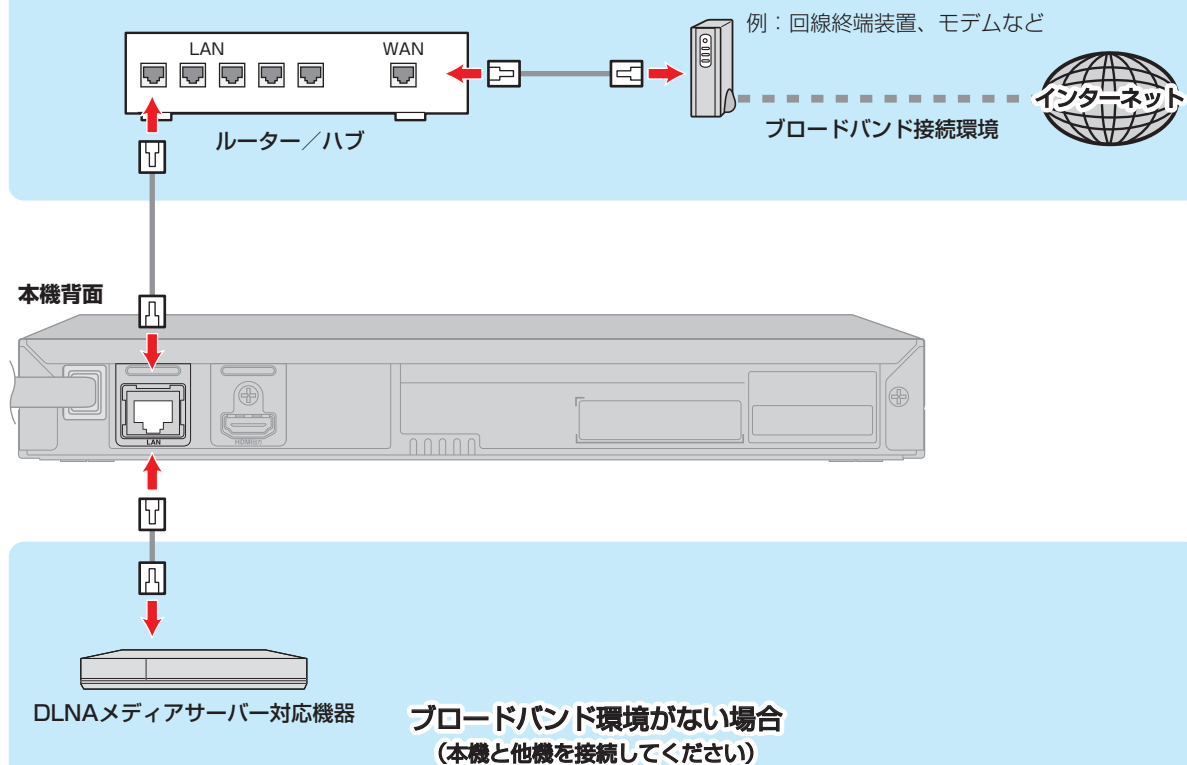
1 再生中に、[サブメニュー]を押して、サブメニューを表示する

2 ▲·▼で「XDE」を選び、[決定]を押す

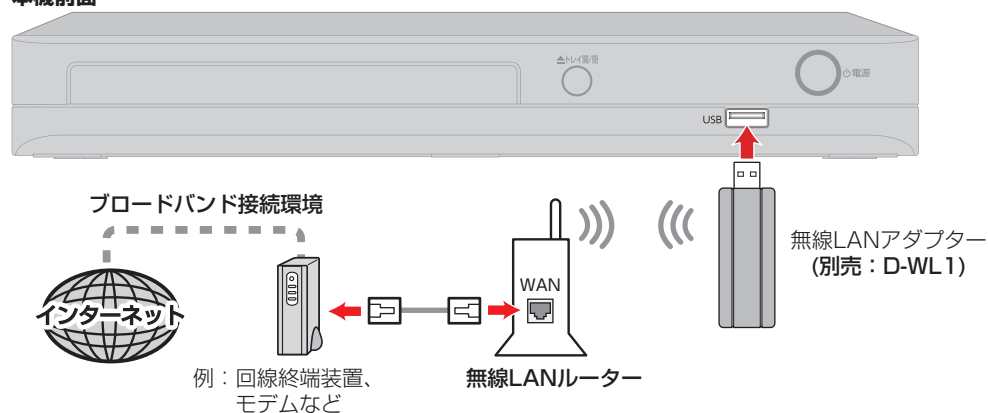
3 ▲·▼で希望の設定を選び、[決定]を押す

- YouTube™やHuluの再生中も設定することができます。
- 以下の場合、「XDE」を設定することはできません。
  - 早送り/早戻し中
  - コマ送り中
  - 一時停止中
- 接続しているテレビによっては、映像が白っぽく見えることがあります。その場合、「XDE」を「切」に設定してください。
- ハイビジョン画質(1080p24)の映像など再生している映像の解像度や本機に接続している機器のHDMI出力解像度によっては、効果がないことがあります。

ネットワークを接続・設定する

LANケーブルを使って接続する

無線LANアダプター（別売)を使って接続する

- BD-Live™機能を使うときは、LANケーブルでインターネットに接続してください。

本機前面

- 東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1)以外は使用できません。
- 本機の電源を切っている時に、東芝製無線LANアダプターを接続し、電源を入れることを推奨します。

ネットワークを接続・設定する・つづき

制限事項

- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- 本機の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続環境にできない場合、当社は一切責任を負いません。

ブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線業者やプロバイダーとの契約
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター (市販)が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH (光ファイバー)回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

- LANケーブルは、カテゴリー 5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、スタートメニュー ➡「本体設定」➡「ネットワーク設定」➡「ネットワークステータス表示」画面で確認できます。43
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

LANケーブルで接続しているときの設定

自動で設定する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「有線」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「自動」を選び、決定を押す

- ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、「終了」を選び、決定を押してください。

ネットワークを設定できなかったときは

「手動」で接続してください。28

ネットワークを使う

ネットワークを接続・設定する・つづき

手動で設定する

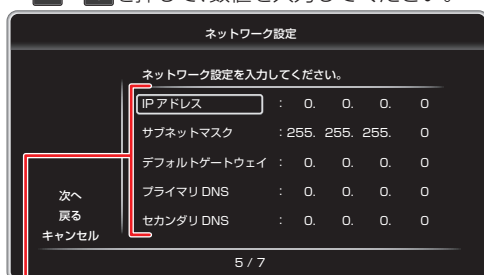
以下のような場合、手動でネットワークを設定してください。
- ネットワークを自動で設定することができなかった場合
- インターネットサービスプロバイダなどにより、ネットワーク設定に特定の設定が必要な場合

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲･▼･◀･▶で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「有線」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「手動」を選び、決定を押す

- 以下の画面が表示されたら、パソコンを確認して、それぞれの項目を設定してください。
- 1～0を押して、数値を入力してください。

IP アドレス： パソコンなどに設定されている IP アドレスの最後の 2 桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。

サブネットマスク： パソコンと同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ： パソコンと同じ数値を入力してください。

プライマリ DNS： パソコンの優先 DNS サーバーと同じ数値を入力してください。

セカンダリ DNS： パソコンの代替 DNS サーバーと同じ数値を入力してください。

- すべての項目を入力し終わったら、「次へ」を選び、決定を押してください。

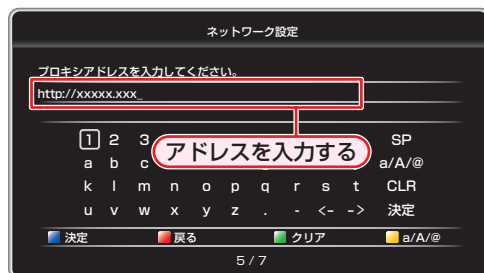
5 ▲･▼でプロキシサーバーを使用するかしないかを選び、決定を押す

「はい」を選んだときは

手順 6 へ進んでください。

「いいえ」を選んだときは

手順 8 へ進んでください。

6 プロキシアドレスを入力する

- ▲･▼･◀･▶を使って入力してください。
(数字はリモコンの1～0でも入力できます。)
- 赤を押すと、前の画面に戻ります。
- 緑を押すと、入力された文字を削除します。
- 黄を押すと、小文字/大文字/特殊文字(@!?など)を切り換えることができます。
- 入力し終わったら、青を押してください。

7 プロキシポート番号を入力する

- 1～0を押して、数値を入力してください。
- 入力し終わったら、「OK」を選び決定を押してください。

8 接続テストをする

- 「はい」を選び、決定を押すとネットワークが正しく接続されているか、テストが始まります。
- テスト結果が表示されたら、「終了」を選び決定を押してください。

- パソコンに設定されている数値を確認するには「コントロールパネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」➡「アダプターの設定変更」➡「ローカルエリア接続」➡「プロパティ」➡「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」からご確認ください。(Windows® 7の場合)
- OSの種類が異なるなどの場合、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

用語について

IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ

ネットワークで本機を識別するための固有の番号になります。

- 0 ～ 255の間で設定します。(255以上の数値を入力すると、自動的に255に再設定されます。)

プライマリDNS/セカンダリDNS

IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

- 0 ～ 255の間で設定します。(255以上の数値を入力すると、自動的に255に再設定されます。)

プロキシサーバー/プロキシアドレス/プロキシポート番号

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

- プロキシアドレスとは、ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスです。
- プロキシポート番号とは、プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。(ネットワークの環境によっては、利用できないことがあります。)
- 0 ～ 65535の間で設定します。(65535以上の数値を入力すると、自動的に65535に再設定されます。)
- プロキシサーバーの設定を変更すると、ネットワークに接続できなくなることがあります。

接続テスト

ネットワークの設定後やネットワークの設定を変更後は、接続テストを行ってください。ネットワークが正しく接続できているか確認することができます。

1 スタートメニュー画面上で、「本体設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ネットワーク接続設定」➡「接続テスト」を選び、決定を押す

- ネットワーク接続テストが始まります。
- 接続テストの結果が表示されたら、決定を押してください。

ネットワーク接続ができていないときは

ネットワークの接続やネットワークの設定をご確認ください。24

ネットワークを使う

ネットワークを接続・設定する・つづき

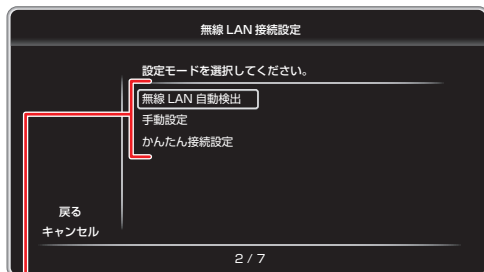
- 本機(前面)に接続する無線LANアダプターは、東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、お手持ちのルーターのセキュリティを設定してお使いください。セキュリティ設定をしていないと、第三者に不正アクセスされ、勝手にインターネットを使用されてしまう可能性があります。

無線LANアダプター（別売）を接続しているときの設定

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「無線」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で設定方法を選び、決定を押す

無線 LAN 自動検出：	本機が利用可能な無線 LAN アクセスポイントを検出して設定します。
手動設定：	設定に必要な各項目を手動で設定します。
かんたん接続設定：	かんたんに無線 LAN を設定します。

無線LAN自動検出

❶ ▲·▼で無線LANアクセスポイントを選び、決定を押す

アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは

手順❷へ進んでください。

アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは

手順❸へ進んでください。

❷ セキュリティキーを入力してください。

- 入力し終わったら、青を押してください。

❸ ▲·▼で「次へ」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼で設定方法を選び、決定を押す

「自動」を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、「終了」を選び、決定を押してください。

「手動」を選んだときは

各項目を設定してください。

- 「手動で設定する」の手順4～8をご覧ください。28

手動設定

❶ SSIDを入力して、青を押す

❷ ▲·▼でセキュリティを選び、決定を押す

アクセスポイントにセキュリティが設定されているときは

手順へ❸進んでください。

アクセスポイントにセキュリティが設定されていないときは

手順へ❹進んでください。

❸ セキュリティキーを入力して、青を押す

❹ ▲·▼で「次へ」を選び、決定を押す

❺ ▲·▼で設定方法を選び、決定を押す

「自動」を選んだときは

ネットワークに必要な設定が自動的に始まります。ネットワークの接続が終わったら、「終了」を選び、決定を押してください。

「手動」を選んだときは

各項目を設定してください。

- 「手動で設定する」の手順4～8をご覧ください。

28

かんたん接続設定

「プッシュボタン方式(PBC)」で設定するときは

無線 LAN アクセスポイントの設定については、東芝製無線 LAN アダプター（別売：D-WL1）の取扱説明書をご覧ください。

❶ 無線LANアクセスポイントの所定のボタンを押す

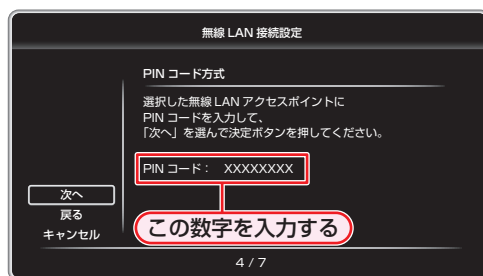
- ボタンの名称は、無線LANアクセスポイントによって異なります。
- 所定のボタンを押したあと、2分以内に手順❷を行ってください。

❷ ▲·▼で「プッシュボタン方式(PBC)」を選び、決定を押す

- 自動的に各項目が設定され、ネットワークの設定が完了します。

「PINコード方式」で設定するときは

❶ 表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選び、決定を押す

❷ 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する

- 詳しい設定は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 自動的に各項目が設定され、ネットワークの設定が完了します。

- 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定が「WEP」の場合、「かんたん接続設定」することができません。
無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定を「TKIP」または「AES」に変更してください。
（詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。）

ネットワークを使う

ホームネットワークを使って再生する

DLNA を使って、他の部屋にある機器 (DLNA サーバー) の映像などを本機で再生することができます。
(レコーダーなどで記録した番組も再生することができます。)
● 詳しくは、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。

あらかじめ、ネットワークを接続・設定してください。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「ホームネットワーク」を選び、決定を押す

- メディアサーバーを読み込みます。
- 読み込みが終わると、メディアサーバーが一覧で表示されます。(最大10件まで)

3 ▲·▼でメディアサーバーを選び、決定を押す

4 ▲·▼で見たいファイルを選び、►または決定を押す

- 再生が始まります。
- 写真/絵を選ぶと、スライドショーが始まります。

メディアサーバーで認識できるフォーマット

映像	MPEG2-PS、 MPEG2-TS/TTS、 AVC※1
音楽	LPCM、 AAC_ISO_320（m4a, 3gp）※2
写真 / 絵	JPEG※3

※1 レコーダーなどで録画した放送波の映像。
※2 サーバーによっては再生できないことがあります。
※3 画素数 4096 × 4096 以下、サイズ 4.5MB 以下。

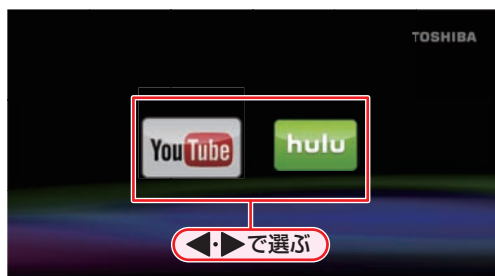
お知らせ
- メディアサーバーで認識できるファイルやフォルダーは、最大2000までになります。
- フォルダーの階層が10以上のファイルは認識されません。
- メディアサーバー一覧に表示されていても、再生できないことがあります。
- プレーヤーやメディアサーバーは、同じネットワークに接続してください。
- メディアサーバーによって、再生時に使える機能が異なります。
- 映像の画質などは、ネットワークの環境によって異なります。
- 再生中にファイルやフォルダを切り換えるときに、時間がかかることがあります。
- 東芝製ブルーレイディスクレコーダーで以下の編集をしたタイトルを再生中に、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
  - おまかせプレイリスト作成
  - 偶数チャプタープレイリスト作成
  - 奇数チャプタープレイリスト作成
  - 手動選択プレイリスト作成
  - おまかせプレイ
  - チャプター削除
  - タイトル結合
- ハイビジョン画質放送と標準画質放送(マルチチャンネル放送など)が混在したタイトルを再生中、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。
- 無線LANアクセスポイントは、5GHz帯へ設定してご使用ください。(2.4GHz帯の設定では、再生時に映像が止まったりすることがあります。)

YouTube™やHuluの映像を見る

インターネットに接続して、YouTube™ から提供されている動画や Hulu から提供されている映画やテレビ番組を再生することができます。

1 （スタートメニュー）を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「ネットアプリ」を選び、（決定）を押す

3 ◀·▶で「YouTube」または「Hulu」を選び、（決定）を押す

4 ▲·▼·◀·▶で見たい映像を選び、（決定）を押す

YouTube™やHuluについて

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

- YouTube™
  http://www.youtube.com/device_support
- Hulu
  http://www2.hulu.jp/support

- 無線LANアクセスポイントは、5GHz帯へ設定してご使用ください。(2.4GHz帯の設定では、再生時に映像が止まったりすることがあります。)
- ネットアプリ機能に関する免責事項については、51☞ を必ずご確認のうえご使用ください。

BD-Live™
バーチャル・パッケージを使う

BD-Live™ 機能付きの BD-Video をインターネットに接続して再生すると、特別映像や字幕などの追加コンテンツやネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

BD-Live™ 機能を利用するには、以下の設定が必要です。
- インターネット接続 24☞
- USBメモリー（空き容量が1GB以上のもの）

- 「ネットワーク設定」が以下になっているか合わせてご確認ください。43☞
  - 「インターネット接続制限」が「制限しない」
  - 「BD-Live接続設定」が「有効」または「有効（制限つき）」

無線LANアダプター（別売）を使っているときは

- 無線LANアダプター（別売）を使ってインターネット接続しているときは、LANケーブルを使ってインターネットを接続しなおしてください。

- BD-Live™で利用できる様々な機能は、ディスクによって異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスク画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を使用しているときは、本機からLANケーブルやUSBメモリーを取りはずさないでください。
- ディスクによっては、「ネットワーク設定」の「BD-Live接続設定」を設定する必要があります。43☞
- BD-Live™対応ディスクの再生中、プレーヤーまたはディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。

レグザリンク・コントローラを使う

レグザリンク・コントローラとは、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) を使用した HDMI で規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行えますが、当社製レグザリンク対応の REGZA シリーズ機種以外については動作を保証するものではありません。

- 対応機種については、http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/をご覧ください。

あらかじめテレビ側でレグザリンクの設定をしてください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）

レグザリンク・コントローラを設定する

レグザリンク・コントローラを使うには、以下の設定が必要になります。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼·◀·▶で「HDMI設定」➡「レグザリンク・コントローラ」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「入」を選び、決定を押す

レグザリンク・コントローラでできること

以下の機能を使うことができます。

ワンタッチプレイ

本機の以下のリモコンボタンを押すと、接続しているテレビの電源が入り、自動的に外部入力に切り換わります。

※ BD-Video などの映像のディスクが入っているときのみ、有効になります。

自動的に電源を切る

本機の電源を 2 秒以上押しつづけると、本機とテレビの電源を切ることができます。

- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

- HDMI CECは、HDMIケーブルで接続することにより対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。
- レグザリンク・コントローラは、テレビではレグザリンク（HDMI連動）と呼んでいる場合があります。
- 接続している機器によっては、意図しない動作をすることがあります。このようなときは「レグザリンク・コントローラ」を「切」にしてください。

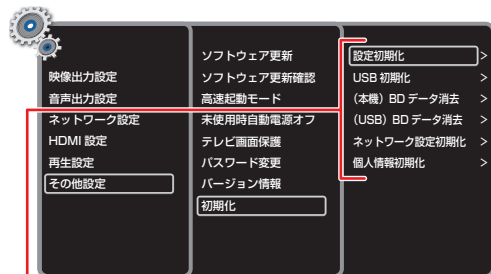
本機やUSBメモリーを初期化（フォーマット）する

本機の各設定を初期化したり、USBメモリーを初期化することができます。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「その他設定」➡「初期化」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で初期化する項目を選び、決定を押す

設定初期化：	「視聴制限設定」と「ネットワーク設定」以外の「本体設定」を初期値に戻します。
USB 初期化：	USB メモリーを初期化して、本機で使えるようにします。
（本機）BD データ消去：	本機に保存されたBD-Videoデータを消去します。
（USB）BD データ消去：	USB メモリーに保存された BD-Video データを消去します。
ネットワーク設定初期化：	「インターネット接続制限」と「BD-Live 接続設定」以外の「ネットワーク設定」内容を初期値に戻します。
個人情報初期化：	本機をお買い上げ時の状態に戻します。本機に設定した情報が全て消去されます。

5 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 確認メッセージが表示されたら、決定を押してください。

- 「USB初期化」や「(USB) BDデータ消去」を実行中に、USBメモリーを抜かないでください。USB機器のデータが破損するおそれがあります。
- 本機にブルーレイディスクが入っていると、「USB初期化」や「(USB) BDデータ消去」ができません。
- 本機にディスクが入っていると、「個人情報初期化」はできません。
- 本機に記憶されたお客様の個人情報（登録情報など）の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含めて当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- YouTube™やHuluのアカウント情報を削除するには、「本体設定」➡「ネットワーク設定」➡「ユーザー登録情報削除」から削除してください。43
- 以下の設定を初期化するには、パスワードを初期化してください。37
  - BD視聴制限レベル
  - DVD視聴制限レベル
  - インターネット接続制限
  - BD-Live接続設定

視聴可能年齢を設定する

パスワードを設定することで、青少年保護の観点から再生を制限することができます。
制限できる機能は以下になります。
- 「BD視聴制限」
- 「BD-Live接続設定」
- 「DVD視聴制限」
- 「インターネット接続制限」

ブルーレイディスクの再生を制限する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「再生設定」➡「BD視聴制限レベル」を選び、決定を押す

4 パスワードを入力する
- 1～0を押して、数値を入力して決定を押してください。

5 ▲・▼で「視聴可能年齢設定」を選び、決定を押す

6 制限する年齢を入力する
- 1～0を押して、数値を入力して決定を押してください。

BD-Live™の再生を制限する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「ネットワーク設定」➡「BD-Live接続設定」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「無効」を選び、決定を押す

「有効(制限付き)」を選ぶと

BD-Live™ コンテンツ制作者の証明書があるディスクのみ再生することができます。

DVDの再生を制限する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「再生設定」➡「DVD視聴制限レベル」を選び、決定を押す

4 パスワードを入力する
- 1～0を押して、数値を入力して決定を押してください。

5 ▲・▼で設定したいレベルを選び、決定を押す

インターネットを制限する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「ネットワーク設定」➡「インターネット接続制限」を選び、決定を押す

4 パスワードを入力する
- 1～0を押して、数値を入力して決定を押してください。

5 ▲・▼で「制限する」を選び、決定を押す

- 「制限する」に設定すると以下の機能が使えません。
  - BD-Live™機能
  - ネットアプリ機能
- 「制限する」に設定していても以下の機能は使えます。
  - ホームネットワークを使った再生
  - インターネットを使ったソフトウェアの更新

- パスワードを変更したいときは、37をご覧ください。

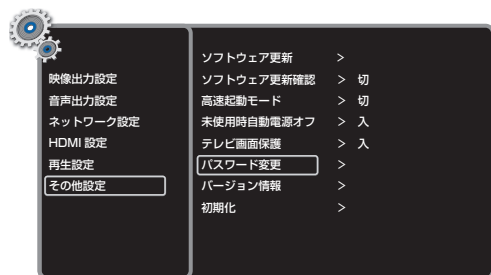
パスワードを変更・初期化する

本機に設定しているパスワードを変更することができます。
パスワードは以下の制限に共通して設定されています。（各制限に別々にパスワードを設定することはできません。）
- 「BD視聴制限」
- 「BD-Live接続設定」
- 「DVD視聴制限」
- 「インターネット接続制限」

パスワードを変更する

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲･▼･◀･▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼･◀･▶で「その他設定」➡「パスワード変更」を選び、決定を押す

4 現在のパスワードを入力する
- 1～0を押して、数値を入力してください。

5 新しいパスワードを入力する
- 1～0を押して、数値を入力してください。
- 入力し終わったら、「OK」を選び、決定を押してください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れたときなどきは、パスワードを初期化してください。
- パスワードを初期化すると、設定している制限も初期設定に戻ります。

1 パスワードを入力するときに、4 ➡ 7 ➡ 3 ➡ 7の順に押す

ソフトウェアを更新する

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を改良し、最新版として公開することがあります。

ソフトウェア更新中は、以下の操作をしないでください。
- 電源コードやLANケーブル、無線LANアダプターを抜く
- ディスクやUSBメモリーを本機から取りはずす
- 本機やルーターの電源を切る

最新のソフトウェアをダウンロードする

ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。
- ディスクやUSBメモリーを使う
- インターネットを使う

ディスクやUSBメモリーを使って更新する

- あらかじめパソコンを使って下記サイトから最新のソフトウェアをダウンロードし、ディスク（CD、DVD）やUSBメモリーに保存しておいてください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼·◀·▶で「その他設定」➡「ソフトウェア更新」➡「ディスク」または「USB」を選び、決定を押す

4 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

5 ディスクを入れる、またはUSBメモリーを接続する
- 確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、決定を押すとソフトウェアの確認が始まります。ソフトウェアの確認が終わったら、本機が再起動し、ソフトウェアの更新が始まります。（更新が完了するまで時間がかかることがあります。）
- ソフトウェアの更新が終わったら、もう一度本機が再起動し、スタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面に戻ってから、ディスクまたはUSBメモリーを取りはずしてください。

- 無線LANアダプターを接続しているときは、USBメモリーで更新することはできません。
- ディスクやUSBメモリーは、未記録のものをお使いください。

インターネットを使って更新する

ネットワークを使って更新するときは、インターネットの接続・設定が必要になります。24

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼·◀·▶で「その他設定」➡「ソフトウェア更新」➡「ネットワーク」を選び、決定を押す

4 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
- 確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、決定を押すとソフトウェアの確認が始まります。ソフトウェアの確認が終わったら、本機が再起動し、ソフトウェアの更新が始まります。（更新が完了するまで時間がかかることがあります。）
- ソフトウェアの更新が終わったら、もう一度本機が再起動し、スタートメニュー画面に戻ります。

ソフトウェアアップデートの更新に失敗したときは

本機が通常起動しなくなった時のソフトウェア更新方法です。

- あらかじめパソコンを使って下記サイトから最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- ダウンロードしたあとに、ソフトウェアのファイル名を変更してUSBメモリーに保存してください。

変更前： ***************.bin

↓

変更後： **UPDATE**10000TA2.**BIN**

1 本機の ⏻電源 を10秒間押し続け電源を切る

- リモコンでは操作できません。

2 USBメモリーを接続する

3 本機の ⏻電源 を押す

- 自動的にソフトウェアの更新が始まります。（更新が完了するまで時間がかかることがあります。）
- ソフトウェアの更新が終わったら、本機が再起動しますので、そのあとにUSBメモリーを取りはずしてください。

- 無線LAN接続で更新に失敗した場合は、手順**1**で本機の電源を切ったあとに、無線LANアダプターを取りはずして、手順**2**へ進んでください。（USBメモリーは、未記録のものをお使いください。）

- ソフトウェアを更新しても、「本体設定」の設定は変更されません。
- 最新のバージョン以外のソフトウェアに更新することはできません。

メディアやフォーマットについて

再生できるメディア

ブルーレイディスク

BD-RE（Ver. 2.1）	BDMV または BDAV 方式で記録されたディスク
BD-R（Ver. 1.1、1.2、1.3）	
BD-Video	リージョンコードに(A)が含まれるディスク

DVD

DVD-RW	AVCREC™ 方式または VR 方式または AVCHD 方式で記録されたディスク
DVD-R	
DVD-Video	リージョンコードに(2)や(ALL)が含まれるディスク

CD

CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable や COMPACT disc ReWritable が記載されている CD
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable や COMPACT disc Recordable が記載されている CD
CD-DA（音楽用 CD）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO が記載されている CD
コダックピクチャー CD	Kodak Picture CD COMPATIBLE が記載されている CD

USB機器

USB 機器	• USBメモリー • USBカードリーダー※

※ USB カードリーダーを使って SD カードを使うことができます。

- ファイナライズされていないディスクやパソコンなどの他機で記録されたディスクは、再生できないことがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- マルチボーダー（マルチセッション）で記録したBD-RE/BD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。
- マルチボーダー（マルチセッション）で記録したDVD-RW/DVD-Rは、追加して記録された部分の再生ができないことがあります。
- 以下のディスクは再生できません。
  - 異なるリージョンコードのディスク
  - NTSC方式（日本のテレビ方式）以外で記録されたディスク

最大ファイル数と最大フォルダ数

本機で認識できる最大ファイル数と最大フォルダ数は以下になります。

ブルーレイディスク、DVD、USB メモリー	9999 ファイル 999 フォルダ
CD	999 ファイル（トラック） 255 フォルダ

再生できるフォーマットについて

AVCHD

本機はDVDに記録されたAVCHDファイル（「〜〜.m2ts」や「〜〜.mts」、「〜〜.m2t」）を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係が AVCHD の仕様にそった構造にしてください。
AVCHD ファイルを DVD や SD カードなどに記録するには、AVCHD に対応した機器 / ソフトウェアを使用してください。（詳しくは、機器 / ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。）

JPEG

本機で再生できる JPEG は以下になります。

サブサンプリング（4：4：4 の場合）	32 × 32 〜 2560 × 1900
サブサンプリング（4：2：2 の場合）	32 × 32 〜 5120 × 3840

- 1ファイルの再生可能容量は12MBまでです。
- JPEGをディスクに書き込む場合はUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで書き込んでください。

USB機器について

- 本機はFAT16／FAT32形式でフォーマットされたUSB機器に対応しています。
- パソコンでフォーマットされたUSB機器は本機で認識できないことがあります。その場合は本機でUSB機器の初期化をしてください。35
- USB機器を使用しないときは、ケースに入れて保管してください。
- USB機器によっては、本機で認識できないことがあります。
- 以下の点にご注意ください。
  - USB機器を分解しない
  - USB機器の端子部はさわらない
  - パソコンを使ってファイルやフォルダーを削除しない
  - ファイルやフォルダーの名前に特殊文字(. , = + [ ] ; / \ : | ¥)を使わない

SDカードについて

- 本機はUSBカードリーダーを使ってSDカードを使うことができます。SD規格に準拠した以下のSDカードに対応しています。
  - FAT32形式でフォーマットされたSDHCカード

SDHC カード	4GB ～ 32GB
miniSDHC カード	4GB ～ 8GB
microSDHC カード	4GB ～ 16GB

  - FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカード

SD カード	8MB ～ 2GB
miniSD カード	16MB ～ 2GB
microSD カード	256MB ～ 2GB

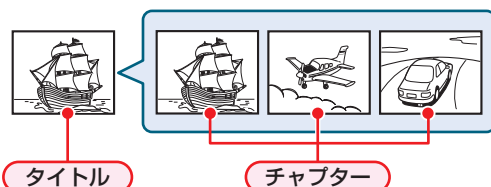
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。すべてのSDHCカードを保証するものではありません。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

タイトル・チャプター・トラック・ファイル・フォルダについて

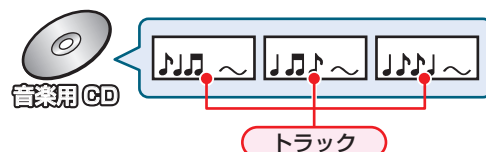
タイトルとチャプター

市販の BD-Video や DVD-Video、またはレコーダーなどで録画した番組は､｢タイトル｣ という大きい区切りと ｢チャプター｣ という小さい区切りに分かれています。

タイトル： ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
1 冊の本に相当します。

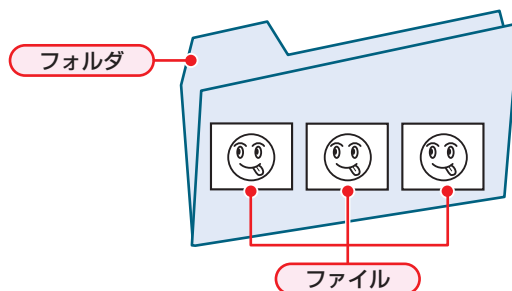
チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の ｢章｣ に相当します。

トラック

音楽用 CD は、｢トラック｣ で区切られています。

トラック： 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったものです。

ファイルとフォルダ

JPEG 形式の写真などの画像が記録されたメディアは、｢フォルダ｣ という大きな区切りと ｢ファイル｣ という小さな区切りで分かれています。パソコンなどで JPEG 形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

ファイル： ひとつひとつのデータのことです。

フォルダ： ファイルやフォルダなどの集合を内包する階層のことです。

いろいろな設定を変える

（___）はお買い上げ時の設定です。

「本体設定」を使う

1 スタートメニュー画面表示中に▲・▼・◀・▶で「本体設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で希望の項目または設定を選び、決定を押す

- この操作を繰り返して、希望の設定に変更してください。
- 確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んでください。
- 戻るを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

3 設定が終わったら、スタートメニューを押して通常画面に戻す

「本体設定」の項目と設定内容

映像出力設定

TV画面選択

4:3 レターボックス：　4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。

4:3 パンスキャン：　4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のない DVD ビデオソフトはレターボックスで表示されます。

16:9 ワイド：　16:9 ワイドテレビで見るときに選びます。16:9 ワイド映像を画面いっぱいに映します。

16:9 シュリンク：　16:9 ワイドテレビで、4:3 映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ 4:3 映像を縮小して表示します。

- 再生するディスクと本機の「解像度設定」によっては、設定どおりに表示されないことがあります。

プログレッシブモード

HDMI 出力端子からプログレッシブで出力する際の最適な出力方法を設定します。

自動：　映画などの 1 秒間に 24 フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に最適な状態で出力します。

ビデオ：　ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。「自動」設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。

スチルモード

自動：　表示する静止画の情報に応じて、「フィールド」または「フレーム」のどちらかで表示されます。

フィールド：　「自動」に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。「フィールド」を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなりますが、ブレを生じません。

フレーム：　動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。「フレーム」を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため、画像にブレが生じることがあります。

音声出力設定

Dolbyレンジ

自動： DolbyTrueHD の再生中に、本機がディスクのオーディオ D レンジ情報を認識し、自動でオーディオ D レンジ設定を「入」または「切」に設定します。DolbyTrueHD 以外を再生した場合では「切」と同じ動作をします。
入： 記録された音声の強弱の幅を調整します。
切： 記録されたオリジナル音源で出力します。
- 効果は、タイトルによって異なります。

BD-HD音声設定

複合音声： インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。
HD 音声： プライマリ音声のみを高音質で出力します。

ネットワーク設定

ネットワーク接続設定

設定開始： ネットワーク接続を設定します。24
接続テスト： ネットワーク接続が正しくできているか確認します。

ネットワークステータス表示

現在のネットワーク設定に関する情報を一覧で表示します。

無線LANステータス表示

本機に接続したアクセスポイントに関する情報を一覧で表示します。

免責事項

ネットアプリ機能の免責事項を表示します。

ユーザー登録情報削除

YouTube：YouTube™ のユーザー登録情報を削除します。
Hulu： Hulu のユーザー登録情報を削除します。

インターネット接続制限

制限しない： インターネットアクセスを許可します。
制限する： インターネットアクセスを禁止します。
- 「制限する」に設定すると以下の機能が使えません。
  - BD-Live™機能
  - ネットアプリ機能
- 「制限する」に設定していても以下の機能は使えます。
  - ホームネットワークを使った再生
  - インターネットを使ったソフトウェアの更新

BD-Live接続設定

有効： BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。
有効（制限つき）： 証明書を持つ BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。
無効： BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。

HDMI設定

レグザリンク・コントローラ

当社のレグザリンク対応テレビでレグザリンク機能を使うかどうかの設定をします。
入／切

解像度設定

自動： 接続した HDMI 機器によって、HDMI 映像解像度を自動で設定します。
480p： 480 プログレッシブで出力します。
720p： 720 プログレッシブで出力します。
1080i： 1080 インターレースで出力します。
1080p： 1080 プログレッシブで出力します。
1080p24： 1080 プログレッシブ 24 フレームで出力します。

ディープカラー

自動： 接続した HDMI 機器がディープカラーに対応している場合、自動で HDMI 出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。
切： HDMI 端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。

音声出力設定

音声の出力方法を設定します。
ビットストリーム：接続している機器が以下に対応している場合、各音声をビットストリームで出力します。
- ドルビーデジタル
- ドルビーデジタルプラス
- ドルビー TureHD
- DTS
- DTS-HD

LPCM： 上記の音声を LPCM に変換して出力します。

いろいろな設定を変える・つづき

再生設定

音声言語

再生時の音声言語を設定します。
「その他の言語」を選ぶと、４桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」50を参考に、言語コードを入力してください。
オリジナル / 日本語 / 英語 / その他の言語

字幕言語

再生時の字幕言語を設定します。
「その他の言語」を選ぶと、４桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」50を参考に、言語コードを入力してください。
切 / 日本語 / 英語 / その他の言語

メニュー言語

再生時のディスクメニューの言語を設定します。
「その他の言語」を選ぶと、４桁の言語コード入力画面が表示されるので、「言語コード一覧」50を参考に、言語コードを入力してください。
日本語 / 英語 / その他の言語

BD視聴制限レベル

無制限：制限なく、全てのディスクが視聴できます。
視聴可能年齢設定：年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢制限を超える番組は視聴することができなくなります。

DVD視聴制限レベル

無制限：制限なく、全てのディスクが視聴できます。
レベル８：年齢に関係なく視聴できます。
レベル７：18 歳未満の方は視聴できません。
レベル６：18 歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。
レベル５：保護者同伴での視聴を推奨します。
レベル４：13 歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。
レベル３：保護者の方の判断による視聴を推奨します。
レベル２：一般的に視聴できる内容です。
レベル１：お子様が視聴されても問題のない内容です。

アングル表示

「入」に設定しておくと、再生中に、カメラアングルが切り換え可能な場面で、画面にを表示します。
入／切

その他設定

ソフトウェア更新

ディスク：ディスクを使ってソフトウェアを更新します。
ネットワーク：インターネットに接続してソフトウェアを更新します。
USB：USB メモリーを使ってソフトウェアを更新します。

ソフトウェア更新確認

入：本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。
切：最新のソフトウェアがあるかどうかの確認を行いません。

高速起動モード

入：高速で起動しますが、「切」時に比べて待機時の消費電力が増えます。
切：起動するのに時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

未使用時自動電源オフ

電源「入」状態で本機を使わないときに、節電のために約 25 分後に自動的に電源を切るかどうかの設定します。
入／切

テレビ画面保護

再生停止中など何も操作をしない状態が約５分つづくと、自動的にスクリーンセーバーが働きます。
入／切

パスワード変更

パスワードを変更します。
- 詳しくは、37をご覧ください。

バージョン情報

現在のソフトウェアのバージョンを表示します。

初期化

各種設定を初期化します。
- 詳しくは、35をご覧ください。

ライセンス情報

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

本機の機能について

メディアやフォーマット

ブルーレイディスクや DVD、CD、USB 機器など様々なメディアを再生することができます。

AVCHD対応

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどで記録されたAVCHD 方式のハイビジョン画質の動画を再生することができます。

JPEG対応

デジタルビデオカメラなどで記録された JPEG 方式の写真や絵を再生することができます。

ブルーレイディスク

DVD 約 5 枚分の大容量記録媒体のブルーレイディスクを再生することができます。

BD-Java対応

Java アプリケーションを含む BD-Video では本編の視聴に加えて、ゲームや対話型コンテンツなど、双方向な機能を楽しむことができます。

PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー)対応

PIP 機能に対応した BD-Video では本編の映像に加えて、子画面の映像を楽しむことができます。追加コンテンツをUSB 機器に保存すると、より多くの再生機能を楽しむことができます。

BD-Live™対応

BD-Live™ 機能付きの BD-Video では本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。追加コンテンツを USB 機器に保存すると、より多くの再生機能を楽しむことができます。

1080プログレッシブ24フレーム

本機と 1080 プログレッシブ 24 フレームに対応しているテレビを接続すると、ブルーレイディスクを再生するときに高品質でより自然に近い映像を楽しむことができます。

ポップアップメニュー

ポップアップメニューが含まれた BD-Video では、再生中に様々な操作ができます。（ポップアップメニューの内容は、ディスクによって異なります。）

HDMI接続

HDMI ケーブルを使うと、テレビとかんたんに接続することができます。また、高解像度の映像を楽しむことができます。

HDMIディープカラー

本機と HDMI ディープカラーに対応しているテレビを接続すると、再生映像の色深度（ディープカラー）を拡張して、より自然に近い色を再現することが出来ます。

レグザリンク・コントローラ

本機と当社製レグザリンク対応の REGZA シリーズ機種のテレビの動作を連動させることができます。

ネットワーク

本機をネットワークに接続すると、様々な機能を楽しむことができます。

DLNA対応

ホームネットワークに接続して、他機からの映像や写真、絵などを再生することができます。

YouTube™

インターネットに接続して、YouTube™ から提供されている多くの動画を再生することができます。

Hulu

インターネットに接続して、Hulu から提供されている多くの映画やテレビ番組を再生することができます。

その他の機能

x.v.Color対応

x.v.Color で撮影された映像を再生するときに、より天然に近い広色域の映像を楽しむことができます。

マルチチャンネルサラウンド音声

本機では、より現実に近い音声を楽しめるマルチチャンネルサラウンド音声出力に対応しています。

1080アップスケーリング

DVD を再生するときにアップコンバート機能によって、標準画質を最大 1080p までアップスケールして高詳細化をすることができます。

症状に合わせて解決法を調べる

おかしいな？と思ったときの調べかた

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下についてお調べください。
- 本機に接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードが正しく差し込まれているかご確認ください。	10
		• 電源コードを別の電源コンセントに差し込んでください。	−
		• 電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	−
	本機のボタンで操作できない、または本機が反応しない	• 本体の電源を10秒以上長押しして本機をリセットするか、1度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	−
リモコン	リモコンを操作しても反応しない	• リモコンを本機のリモコン受光部に近づけて操作してください。	−
		• 本機の電源が入っているかご確認ください。	−
		• リモコンの電池の向き（＋と−）が正しく入っているかご確認ください。	11
再生	映像が映らない、または音声が出ない	• 本機とテレビの電源が入っているかご確認ください。	12
		• 本機と接続している機器の接続をご確認ください。	10
		• テレビがHDCPに対応しているかご確認ください。（HDCPに対応していない場合、正常に映像が出力されません。）	−
		• ディスクが入っていない状態で、リモコンの▶を5秒間長押ししてください。（「HDMI設定」の「解像度設定」を初期値に戻すことができます。）	−
		• HDMIケーブルにHDMIロゴの表示があるかご確認ください。（HDMIロゴの表示がないケーブルで接続すると映像や音声が正しく出力されません。）	−
		• 本機と接続している機器の電源を入れたまま、HDMIケーブルを抜き差ししてください。	−
	映像が乱れる	• ほかのHDMIケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。	−
	ハイビジョン画質で見ることができない	• ハイビジョンで記録された映像かご確認ください。（ハイビジョンで記録された映像のみ、ハイビジョン画質で見ることができます。）	−
		• 本機と接続しているテレビがハイビジョンに対応しているかご確認ください。（ハイビジョンに対応したテレビでのみ、ハイビジョン画質で見ることができます。）	−
	音声がでない、または途切れる	• 本機に接続している機器の音量を調節してください。	−
		• 本機に接続している機器が正しく接続されているかご確認ください。	10
	🚫が表示される	• 再生中のコンテンツで禁止されている操作です。	−
	アングルを切り換えることができない	• 複数のアングルが記録されたディスク以外は、アングルを切り換えることができません。（特定の場面でのみ複数のアングルが記録されたディスクもあります。）	−
	タイトルを選んでも再生が始まらない	• 視聴制限が設定されていないかご確認ください。	36
	AVCHD 方式の動画が再生できない	• AVCHDファイルが正しくコピーされているかご確認ください。本機はDVDに記録されたAVCHDファイル（「～～.m2ts」や「～～.mts」、「～～.m2t」）を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダの相対関係がAVCHDの仕様にそった構造にしてください。AVCHDファイルをDVDやSDカードなどに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。（詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。）	−
	JPEG ファイルが見つからない	• 最大ファイル数を超えていないかご確認ください。	40
		• JPEGファイルの拡張子が以下になっているかご確認ください。.jpg / .JPG / .jpeg / .JPEG	−

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
再生	AV アンプから音声が出ない	• AVアンプの電源が入っているかご確認ください。	–
		• AVアンプの出力が正しいかご確認ください。 （詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。）	–
		• AVアンプがビットストリームまたはLPCMに対応しているかご確認ください。（詳しくは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。） 対応している場合は、本機の「本体設定」➡「HDMI設定」➡「音声出力設定」を設定してください。	43
		• AVアンプの音量を調節してください。	–
ディスク	ディスクの再生中に映像が止まる	• ディスクが指紋などで汚れていないか、または傷がないかご確認ください。	52
	ディスクが再生できない	• 本機に対応しているディスクかご確認ください。 （DVDの場合、ファイナライズされているかご確認ください。）	40
		• 本機のソフトウェアを更新してください。 （発売して間もないディスクの場合、ソフトウェアを更新すると再生できることがあります。）	38
	ディスクの写真や絵が再生できない	• ディスクがUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで記録されたものであるかご確認ください。	40
	ディスクを取り出しても通常の画面に戻らない	• 電源を切り、約30秒後にもう一度電源を入れてください。	–
	再生中に操作できない	• ディスクによっては、禁止されている操作があります。 （ディスクの取扱説明書をご覧ください。）	–
	ディスクの読み込みができない	• 本機に対応しているディスクかご確認ください。	40
		• ディスクの汚れをふきとってください。	52
	BD-Live™ 機能が使えない	• ディスクを再生する前に、USBメモリーを接続してください。	14
		• USBメモリーの空き容量が1GB以上あるかご確認ください。	–
		• USBメモリーを正しく接続しているかご確認ください。	14
		• 無線LANでネットワーク接続しているときは、LANケーブルを使ってネットワークを接続してください。 （無線LANアダプター（別売）とUSBメモリーを同時に使うことはできません。）	24
		• 「インターネット接続制限」が「制限しない」になっているかご確認ください。	36
	ブルーレイディスクの読み込みができなくなり、ディスクトレイから取り出すことができない	• 電源コードをコンセントから抜いて、約20秒後にもう一度電源コードをコンセントに差し込んでください。そのあとに（トレイ開/閉）を押し、ディスクトレイからディスクを取り出してください。	–
USB 機器	USB 機器の残り容量が少ない	• バーチャルパッケージ対応のBD-Videoを再生すると、バーチャルパッケージがUSB機器に保存されることがあります。	33
	USB 機器の MPEG-2 形式の動画が再生できない	• 本機は、MPEG-2形式の動画に対応していません。	–
	USB 機器の読み込みができない	• 本機に対応していないUSB機器が接続されています。	–
		• USB機器に保存されているデータが破損しています。	–
		• 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。	–
		• 本体の（電源）を10秒以上長押しして本機をリセットするか、1度電源プラグをコンセントから抜き、5～10秒後に再びコンセントに差し込んでください。	–
		• 本機に対応しているフォーマットかご確認ください。	40

次ページへつづく

症状に合わせて解決法を調べる・つづき

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
ネットワーク	ネットワークに接続できない	• モデムやルーターの電源が入っているかご確認ください。	−
		• モデムやルーターのインターネットランプが点灯しているかご確認ください。	−
		• 本機のネットワーク設定をご確認ください。	24
		• 本機とルーターが正しく接続できているかご確認ください。	−
		• ルーターのDHCP機能を「入」に設定してください。	−
	「接続テスト」が「インターネット：成功」になっても、インターネットに接続できない。	• ルーターのリダイレクト機能を無効にして「接続テスト」を行ってください。（リダイレクト機能が有効の場合、「接続テスト」の結果が「インターネット：成功」となります。）	−
	「かんたん接続設定」で無線LANのアクセスポイントを設定できない	• 「無線LAN自動検出」または「手動設定」で無線LANのアクセスポイントを設定してください。	30 31
		• 無線LANアクセスポイントのセキュリティ設定を「TKIP」または「AES」に変更してから、もう一度「かんたん接続設定」を設定してください。（セキュリティ設定の変更方法は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。）	31
	無線LAN接続ができない	• 無線LANの接続や設定が終わっても、本機で設定が完了するまで約30秒ほどかかります。（スタートメニュー画面でが表示されたら、本機で無線LAN接続の設定が完了になります。）	−
	パソコンでネットワーク接続中に、本機でネットワーク接続ができない	• 複数の機器から同時にネットワーク接続ができるかどうか、インターネットサービスプロバイダにご確認ください。	−
	ホームネットワークで配信されているファイルやフォルダが表示されない	• ホームネットワークの設定が正しくできているかご確認ください。	−
		• ネットワークが正しく設定できているかご確認ください。	24
	YouTube™ や Hulu で黒画面や静止画になったままになる	• ネットワークが正しく設定できているかご確認ください。	24
	YouTube™ や Hulu にアクセスできない	• ネットワークが正しく設定できているかご確認ください。	24
		• 「インターネット接続制限」が「制限しない」になっているかご確認ください。	36
	YouTube™ や Hulu の映像の映りが悪い	• インターネットの環境によっては、映像が途切れたり、乱れたりすることがあります。	−
		• インターネットサービスプロバイダによって、映像の映りが異なります。	−
	You Tube™ や Hulu、またホームネットワークで配信されたコンテンツの再生が止まったりする。	• 無線LANアクセスポイントを、5GHz帯に設定してください。（2.4GHz帯の設定では、再生時に映像が止まったりすることがあります。）	−
その他	パスワードを忘れた	• パスワードを「4、7、3、7」と入力してください。そのあとに、新しいパスワードを設定してください。	37
	「ソフトウェアの更新に失敗しました。」とメッセージが表示される	• 最新のソフトウェアに更新してください。ソフトウェアの更新ができないときは、更新用ファイルを以下のように名称を変更し、USB機器に保存しなおしてください。そのあとにUSB機器からソフトウェアを更新してください。「**************.bin」 ➡ 「UPDATE10000TA2.BIN」	38
	ネットワークでのソフトウェアの更新に何度も失敗し、本機が正常に起動しない。	• USBメモリーを使って、ソフトウェアを更新してください。	39
	デジタル音声出力を利用したい	• 本機にはデジタル音声出力用の光端子や同軸端子はありませんので、HDMIでの接続を行ってください。	−

音声出力について

再生するメディアや本機に接続している機器によって、音声出力が異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

メディア		音声出力方式	ビットストリーム	LPCM
ブルーレイディスク	BD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス（ドルビーデジタル※1）	マルチ LPCM
		ドルビー TrueHD	ドルビー TrueHD（ドルビーデジタル※1）	マルチ LPCM
		DTS	DTS	マルチ LPCM
		DTS-HD	DTS-HD（DTS※1）	マルチ LPCM
		LPCM	マルチ LPCM	マルチ LPCM
	BDAV	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		AAC	AAC	
		LPCM	マルチ LPCM	
DVD	DVD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		DTS	DTS	
		LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
	AVCREC™ 方式	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		LPCM	2ch LPCM	
		AAC※2	AAC	
	VR 方式	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
CD	音楽用 CD	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
	DTS 方式	DTS	DTS	マルチ LPCM
ディスク SD カード	AVCHD 方式	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		LPCM	マルチ LPCM	
ホームネットワーク	映像	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチ LPCM
		MP2	2ch LPCM	
		LPCM	マルチ LPCM	
		AAC (MPEG2)	AAC	
	音楽	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
		AAC	AAC※3	マルチ LPCM
インターネットサービス	YouTube™	HE-AAC	2ch LPCM	2ch LPCM
	Hulu	HE-AAC	2ch LPCM	2ch LPCM

※1 「BD-HD 音声設定」を「複合音声」に設定して、インタラクティブ音声やセカンダリ音声を含む BD-Video を再生したとき。
※2 デジタル放送で使用される AAC 音声の再生は可能ですが、パソコンなどで記録された AAC 音声の再生はできません。
※3 ヘッダ情報に AAC の情報がある場合は AAC で出力します。AAC ヘッダ情報が無い場合は PCM で出力します。

- 本機と接続している機器が以下の場合、音声はLPCMで出力されます。
  - ビットストリームに対応していない
  - AACに対応していない
- プライマリ音声のみが記録されたBD-Videoを再生すると、「BD-HD音声設定」を「複合音声」に設定していても「HD音声」として再生します。

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	jv	5668

言語名	画面上の表示	言語コード
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565

言語名	画面上の表示	言語コード
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

ネットアプリ機能の免責事項

本製品において利用可能なコンテンツやサービスは、各サービス提供事業者から、各サービス提供事業者のネットワークまたは送信設備を介して提供されるものであり、当該コンテンツやサービスは、予告無く、変更・終了・中断される場合があります。
当社は、当該コンテンツやサービスの内容および変更・終了・中断に関し一切の責任を負いません。
本製品はサービス提供事業者から提供される最新の状態を保持するために、自動的に本製品がソフトウェアアップデートの必要があるかを確認する目的でインターネットへ接続する場合があります。
当社は、コンテンツやサービスに関連したカスタマーサービスに対して責任を負いません。
コンテンツやサービスに関連するご質問やご要望は、直接各サービス提供事業者へ行ってください。

本製品において利用可能なコンテンツやサービスは、現状有姿（"AS IS"）のまま提供されます。
当社は、コンテンツやサービスの商品性、特定目的への適合性、正確性、有効性、適時性、適法性、品質等（これらに限らない）につき、明示的、または黙示的に関わらず、いかなる保証責任も負いません。
当社は、契約または不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本製品において利用可能なコンテンツやサービスに関連して発生した直接損害、間接損害、付随的損害、特別損害または結果的損害に限らず、逸失利益、弁護士費用、その他いかなる損害についても、一切の責任を負いません。

本製品において利用可能なコンテンツやサービスは、各権利者に帰属し、著作権法、特許法、商標法等知的財産法令により保護されています。提供されるコンテンツ及びサービスは、利用者の私的使用のみのために提供されます。利用者は、各コンテンツおよびサービス提供者から許諾される方法以外でコンテンツやサービスを利用することはできません。また、各コンテンツおよびサービス提供者から明示的に許諾されない限り、利用者は、本製品を通して提供されるコンテンツやサービスを改変、複製、再版、アップロード、送信、翻訳、二次的著作物の作成、不正使用、頒布等を行うことはできません。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ(操作不能)などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクドライブについての重要なお願い

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布(ガーゼ等)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。または、ディスクトレイ上から押したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販のBD/DVD-Videoの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「🚫」が表示されることがあります。「🚫」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- 本機をインターネットに接続して「ソフトウェア更新確認」を「入」に設定しておくと、最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。
（お買い上げ時は、「切」に設定されています。）
- ソフトウェアのバージョンアップや「ソフトウェア更新確認」については、38 をご覧ください。ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

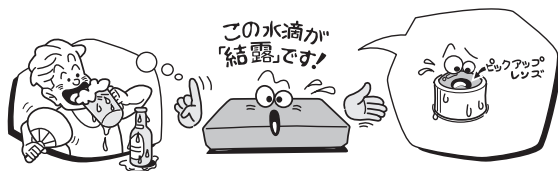
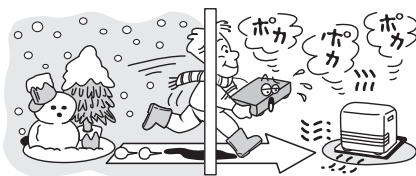
HDMI連動機能（レグザリンク機能）について

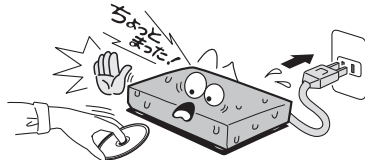
- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証いたしかねます。

インターネット機能について

- インターネットの利用には、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店また接続業者などにご相談ください。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

結露（露付き）について

- 結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください
例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを"結露（露付き）"といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

- "結露"はこんなときおきます
  - 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
  - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
  - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
  - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください

- 結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、以下の初期化を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。
  - 個人情報初期化 35
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。

さまざまな設定や情報

使用上のお願い・つづき

著作権について

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- DTSは、DTS, Inc.の登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essential は、DTS, Inc.の商標です。 Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、BD-Live™、BONUSVIEW™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- KodakおよびKODAK Picture CD CompatibleロゴはKodakの商標であり、許可を得て使用されています。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の登録商標です。
- HULUは登録商標です。
  HULU、Huluのロゴ、HULU.COM、HULU.JP、HULU.CO.JPはHulu, LLCの商標です。
  Copyright © 2012 Hulu, LLC. All Rights Reserved.
- “DLNA”および“DLNA”ロゴや“DLNA CERTIFIED”は登録商標です。Digital Living Network Allianceは、デジタルリビングネットワークアライアンスのサービスマークです。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Cinavia™
  Cinaviaの通告
  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia技術に関する詳細情報は、
  http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
  Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
  この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。
  Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
  リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機は、米国「Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及び GUN LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。
対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照してください。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、
スタートメニュー画面の「本体設定」➡「その他設定」➡「ライセンス情報」に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。（東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします。）

当該ソフトウェアモジュールについては、東芝以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
findutils linux module-init-tools mount nettools sash sysfsutils GMP autofs	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL)
directfb glibc QtWebkit(BS-Webkit)	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (LGPL)

仕様

一般

形名	DBP-S300
信号方式	NTSC 方式
電源	AV100V　50/60Hz
消費電力	10W
待機時消費電力	0.3W※（高速起動モード「切」時）
許容動作温度	5℃～ 40℃
許容湿度	80%最大（結露なきこと）
外形寸法	280（幅）× 39（高さ）× 198（奥行）mm（突起部含む） 280（幅）× 39（高さ）× 196（奥行）mm（突起部含まず）
質量	約 1.1kg

※　高速起動モード「入」設定にすると待機時の消費電力は増えます。

端子

HDMI 出力	Type A 端子（19 ピン）1 系統
LAN 端子	1 系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子	USB 1.1、USB 2.0 準拠　TypeA　DC 5V 最大　500mA

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

総合さくいん・用語解説

数字・アルファベット順

AACS（エーエーシーエス）
Advanced Access Content System の略称です。ブルーレイディスクで採用されている著作権保護技術です。

BD-J
BD-Video には Java アプリケーション（これを BD-J と呼びます）を含むものがあり、通常のビデオ操作に加えていろいろな双方向の機能を楽しむことができます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビーデジタルは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。
この技術を PCM 記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能になり、より高い解像度（ビットレート）の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Digital Plus（ドルビーデジタルプラス）
Dolby TrueHD（ドルビートゥルーエイチディー）
Dolby Digital Plus は、Dolby Digital をさらに高音質、5.1ch 以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。
Dolby TrueHD は、DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版で、スタジオマスター音声データを高品位で再生する音声方式です。
両方式とも、ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS®
DTS 社が開発したデジタル音声システムです。DTS 対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®
DTS® をさらに高音質、高機能化した音声方式で、下位互換により従来の DTS 対応アンプでも DTS® として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

HDMI
High Definition Multimedia Interface の略称です。ブルーレイディスクプレーヤーや DVD プレーヤーなどのデジタル機器と接続できるデジタル AV インターフェースです。
映像信号と音声信号を 1 本のケーブルで接続でき、圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

HDMI CEC（エイチディーエムアイシーイーシー）
HDMI CEC（Consumer Electronics Control） は、HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動操作を可能にした業界標準規格です。

JPEG
Joint Photographic Experts Group の略称です。静止画像データの圧縮方式の 1 つです。
画質を低下させずにファイル容量を小さくすることができます。デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

あ

か

さ

総合さくいん・用語解説・つづき

た

な

は

バーチャルパッケージ
一部のBD-Videoでは、他のメディア（ローカルストレージ）にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャルパッケージと呼んでいます。
データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

ま

マルチボーダー（マルチセッション）
データの開始と終わりを表すデータ部分のことを「ボーダー（セッション）」と呼びます。マルチボーダーとは、1枚のディスクに追記などによって、データの開始と終わりを表すボーダー（セッション）が複数ある状態を言います。

ら

リージョンコード
BD-VideoやDVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号（これをリージョンコードといいます）が分けられています。日本の場合、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけを再生することができます。

レターボックス
標準テレビ（4：3）にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向に画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつきます。

商品の保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から 1 年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	ブルーレイディスクプレーヤー
形名	DBP-S300
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ **お買い上げ店名**	☎（　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
■ 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

商品のお問い合わせに関して

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ / DVD < レグザ > お客様サポートページをご覧ください
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝 DVD インフォメーションセンター』
0120-96-3755

※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。
※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません

受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

携帯電話からのご利用は	ナビダイヤル（通話料：有料）	0570-00-3755
PHS や IP 電話からのご利用は	（通話料：有料）	03-6830-1855
FAX	（有料）	03-3258-0470

- 「東芝 DVD インフォメーションセンター」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ & サービス社が運営しております。
- お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？		ご使用中止	
	・再生しても音や映像が出ない。 ・煙が出たり、異常なにおいや音がする。 ・水や異物がはいった。 ・ディスクが傷ついたり、取り出しができない。 ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ・その他の異常や故障がある。		このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 東芝
デジタルプロダクツ & サービス社
〒 105 − 8001　東京都港区芝浦 1 − 1 − 1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ECH10JD / ECH10JH
1VMN33293B ★★★
Printed in China